



**Hewlett Packard**  
Enterprise

# HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x 互換性チャート v2016.09.x

## 摘要

このドキュメントは、HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x のプランニング、インストール、および保守をするためのハードウェア、ファームウェア、およびソフトウェアの要件について記載しています。

部品番号: 869945-191  
2016年9月  
第1版

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

## 商標

Google® および Chrome™ は、Google Inc.の商標です。

Intel®, インテル®, およびインテル Xeon® はインテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

## 改訂履歴

発行時期	変更点	ドキュメントバージョン
2016 年 9 月	<b>HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x v2016.09.x</b> v2016.09.0 のリリースを含む	869945-191

# 目次

<b>1 概要</b> .....	<b>4</b>
バージョンの識別.....	4
リリース.....	4
<b>2 パッケージの内容</b> .....	<b>6</b>
<b>3 サポートされるハードウェア</b> .....	<b>7</b>
エンクロージャー.....	7
管理アプライアンスサーバーホスト (MASH).....	7
HPE ProLiant c-Class サーバーブレード.....	9
コンバードネットワークアダプター.....	9
VC モジュール.....	9
HPE 3PAR Flat SAN ストレージ.....	10
<b>4 サポートされるソフトウェア</b> .....	<b>11</b>
Web ブラウザー.....	11
仮想化ソフトウェア.....	11
オペレーティングシステム.....	12
<b>5 サポート済みのファームウェアとドライバー</b> .....	<b>13</b>
<b>6 サポートと他のリソース</b> .....	<b>14</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	14
アップデートへのアクセス.....	14
Web サイト.....	15
関連ドキュメント.....	15
カスタマーセルフリペア.....	15
リモートサポート (HPE 通報サービス).....	15

# 1 概要

---

**注記:** このリビジョンの『HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x Update Guide』には、Hewlett Packard Enterprise の製品および情報の新しい Web アドレスに加えて、HPE Helion CloudSystem システムで使用されるソフトウェア、ファームウェア、ドライバー、DVD、およびその他のカスタムコンポーネントの新しい Web アドレスが記載されています。必ず、これらの新しい Web アドレスを使用してください。このドキュメントの以前のバージョンで提供された Web アドレスは使用しないでください。

---

HPE は、アプライアンスの集まりおよびコンバージドシステムプラットフォームとして、HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x を提供しています。HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x には、ハードウェア、ソフトウェア、および HPE CloudSystem Foundation および HPE CloudSystem Enterprise を通じて提供されるライセンスを含むスターターキットおよびオプションの拡張キットが工場出荷時に統合されています。

HPE は、HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x の一部として本書に記載されているハードウェアコンポーネント、ファームウェアバージョン、およびソフトウェアバージョンのみをテストし、完全にサポートしています。HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x は、HPE CloudSystem ソフトウェア、HPE OneView、HPE Insight Control など、HPE および HP の他の製品のハードウェア、ソフトウェア、およびファームウェアを組み合わせたものです。個々の HPE および HP 製品には、他の状況で使用すると、追加の互換性が含まれることがありますが、本書には、HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x の一部としてサポートされているコンポーネントおよびバージョンのみが記載されています。

- 
- △ **注意:** 互換性および完全な機能を確保するには、HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x の一部として本書に記載されているファームウェアとソフトウェアのバージョンを使用する必要があります。このドキュメントに示されていないバージョンレベルを使用すると、それが個々のコンポーネントの新しいリビジョンであっても、動作に問題が発生する可能性があります。最新情報については、<http://www.hpe.com/info/CloudSystem/solution/docs> で入手できる本書の最新版を参照してください。
- 

## バージョンの識別

HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x のバージョンは、「年.月.リビジョン」で識別されます。たとえば、バージョン 2016.09.0 は 2016 年 9 月の初回リリースです。次に続くリビジョン（2016.09.1 や 2016.09.2 など）は、ソフトウェアのアップデートまたはパッチ、およびファームウェア、エージェント、またはドライバーの変更用です。

## リリース

表 1 (5 ページ) は、利用可能な 2016.09.x リリースとインストール要件をまとめた表です。

HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x リリースの完全なリストについては、<http://www.hpe.com/info/CloudSystem/solution/docs> にある『HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x Update Guide』を参照してください。

表 1 サポート済みのリリース

Helion CloudSystem ソリューション	HPE CloudSystem ソフトウェア	HPE OneView	HPE IC サーバードプロビ ジョン/ HPE Matrix OE	ファームウェア/ ドライバ	HPE 3PAR OS (最小)	インストール要件
2016.09.0	10.0	2.0 (20007)	7.5.1	SPP 2016.04.0 HPE ProLiant BL460c Gen9 および HPE ProLiant BL660c Gen9 ROM バージョン 2.20	3.2.2 MU2	HPE テクノロジーサービスの契約を推奨

## 2 パッケージの内容

HPE CloudSystem Foundation または HPE CloudSystem Enterprise ソリューションのパッケージには、以下のコンポーネントが含まれています。

- ハードウェア
  - HPE CloudSystem 管理キット — 管理アプライアンスサーバーホスト (MASH) (×1 ~3)
  - HPE CloudSystem スターターキット (×1)。内容は次のとおりです。
    - HPE BladeSystem c-Class Platinum エンクロージャー (×1)
    - HPE Virtual Connect (VC) FlexFabric モジュール (×2 以上)
    - リダンダント HPE Onboard Administrator (OA)
    - 電源および冷却の標準オプション
  - HPE CloudSystem 拡張キット (×0 以上)
  - HPE ProLiant Gen8 および Gen9 サーバーブレード (×2 以上)
  - HPE 3PAR ストレージ (同時に発注、またはお客様が提供する HPE 3PAR SAN)
  - ネットワークインフラストラクチャ (同時に発注、またはお客様が提供)
- ソフトウェア
  - HPE CloudSystem ソフトウェア
  - HPE OneView
  - HPE Insight Control サーバープロビジョニング
  - 仮想化ソフトウェア (「[仮想化ソフトウェア](#)」(11 ページ)を参照)
- サービス
  - HPE Helion CloudSystem ソリューションインストール/スタートアップサービス
  - HPE CloudSystem Matrix インストール/スタートアップサービス (HPE OneView の代わりに HPE Matrix Operating Environment を選択した場合)

HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x コンポーネントの最新情報については、<http://www.hpe.com/info/quickspecs> (英語)にある『HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x QuickSpecs』を参照してください。

## 3 サポートされるハードウェア

### エンクロージャー

HPE は、HPE BladeSystem c7000 Platinum エンクロージャーをおすすめします。

- ① **重要:** 空のインターコネクต์ベイは、適切な空気の流れと冷却のために、必ずブランクでふさいでください。

HPE BladeSystem c7000 Platinum エンクロージャーは、モジュラーサーバー、インターコネクต์、およびストレージコンポーネントを現在から次の数年間にわたってサポートするために必要な電源、冷却、I/O インフラストラクチャをすべて提供します。エンクロージャーの高さは 10U で、最大 16 台のサーバーまたはストレージブレード、および冗長ネットワーク/ストレージインターコネクต์モジュールを格納できます。また、サーバーブレードからネットワーク/共有ストレージへの Wire-Once 接続用の共有 5 Tb/s 高速 NonStop ミッドプレーンが含まれています。電力は、プール化された電源バックプレーンから供給され、電源入力には、単相、三相 AC 入力、および 48 V DC 入力から選択できる柔軟性があります。

**注記:** Location Discovery Service を備えた HPE Intelligent シリーズラックを使用すると、新しく設置された機器や機器の移動を追跡できます。Location Discovery を使用するには、HPE BladeSystem c7000 G2 Platinum エンクロージャーと、ロケーションディスクカバリキットを搭載した HPE Intelligent シリーズラックが必要です。

### 管理アプライアンスサーバーホスト (MASH)

3 台のサーバーが管理アプライアンスをホストして、高可用性クラウドを管理できるようにします。スターターキットとともに CS700 2.0 Virtualization Management Kit を 3 つ注文するか、既存のインベントリにある、同等の機能のサーバーを 3 台使用します。

この 3 ノード構成は、<http://www.hpe.com/info/CloudSystem/docs> にある『HPE Helion CloudSystem 10 サポートマトリックス』の「管理ハイパーバイザーのハードウェア要件」で説明する「中規模 (デフォルト)」サイズ環境の要件を満たします。

CS700 2.0 Virtualization Management Kit には、以下の品目が含まれます。

- HPE ProLiant DL360 Gen9 サーバー
  - インテル Xeon E5-2680v3 プロセッサ (2.5 GHz/12 コア/30 MB/120 W) (×2)
  - HPE 16GB デュアルランク x4 PC4-2133P-R キット (x16)
  - HPE 600GB 6G SAS 10K (2.5 型) SC Enterprise ハードディスクドライブ (×8)
  - HPE DL360 Gen9 Small Form Factor DVD-RW/USB キット
  - HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-SFP+ アダプター
  - HPE DL360 Gen9 Small Form Factor P440ar/H240ar SAS ケーブル
  - HPE Smart アレイ P440ar/2G コントローラー
  - HPE 1U Small Form Factor Easy Install レールキット
  - HPE 82Q 8Gb 2 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
  - HPE DL360 Gen9 シリアルケーブル
  - HPE 800W FS Platinum ホットプラグ対応パワーサブライキット (×2)
  - HPE DL360 Gen9 2P ロープロファイル PCIe スロット CPU2 キット

- HPE DL360 Gen9 Small Form Factor (2.5 型) Systems Insight ディスプレイキット



# HPE ProLiant c-Class サーバースレード

表 2 サポート済みのサーバースレード

サーバースレード	2016.09.0
HPE ProLiant BL420c Gen8 サーバー	√
HPE ProLiant BL460c Gen8 サーバー	√
HPE ProLiant BL465c Gen8 サーバー	√
HPE ProLiant BL660c Gen8 サーバー (フルハイト)	√
HPE ProLiant BL460c Gen9 サーバー	√
HPE ProLiant BL660c Gen9 サーバー (フルハイト)	√

## コンバインドネットワークアダプター

表 3 サポートされるメザニアダプター

メザニアダプター	2016.09.0
HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 536FLB アダプター	√ <sup>1</sup>
HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 554M アダプター	√
HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 554FLB アダプター	√
HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 630M アダプター	√ <sup>1, 2, 3, 4, 5</sup>
HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 630FLB アダプター	√ <sup>1, 2, 3, 4, 5</sup>
HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 650M アダプター	√
HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 650FLB アダプター	√

<sup>1</sup> この FCoE アダプターは、ESXi コンピュートノードホストでサポートされます。このアダプターは、Red Hat KVM、HPE Linux、および Hyper-v コンピュートホストではサポートされません。

<sup>2</sup> BL420c Gen8 サーバースレードではサポートされません。

<sup>3</sup> Gen8 サーバーの Intelligent Provisioning 1.60 (またはそれ以前) では、Windows および Linux 配備はサポートされません。PXE による Windows および Linux 配備はサポートされます。

<sup>4</sup> このアダプターの iSCSI または FCoE 構成では、SLES11 SP3 の配備はサポートされません。

<sup>5</sup> FCoE 構成の Red Hat 6.x の配備では、FCoE ディレクティブを Kickstart ファイルに追加する必要があります。このディレクティブでは、SAN に接続されている NIC を次のように指定する必要があります。

- `-nic -` (必須) アクティブ化するデバイスの名前です。
- `-dcb - DCB (Data Center Bridging) 設定を確立します。`
- `-autovlan - VLAN を自動的に検出します。`

## VC モジュール

表 4 サポートされる VC モジュール

VC モジュール	2016.09.0
HPE Virtual Connect FlexFabric 10 Gb/24 ポートモジュール	√
HPE Virtual Connect FlexFabric 20Gb/40Gb F8 モジュール	√

## HPE 3PAR Flat SAN ストレージ

スターターキットの一部として HPE 3PAR StoreServ ストレージを注文するか、既存のインベントリにある、同等の機能の HPE 3PAR ストレージを使用できます。HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x は、HPE 3PAR OS で HPE 3PAR 製品 (表 5 (10 ページ) に記載) をサポートしています。

**表 5 サポート済みの HPE 3PAR 製品**

HPE 3PAR 製品	2016.09.0
HPE 3PAR OS (最小)	3.2.2 MU2
HPE 3PAR StoreServ 7000 Storage	√
HPE 3PAR StoreServ 8000 Storage	√
HPE 3PAR StoreServ 10000 Storage	√
HPE 3PAR StoreServ 20000 Storage	√

## 4 サポートされるソフトウェア

HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x には、表 6 (11 ページ) に記載の管理アプライアンスとソフトウェア、さらに HPE の Web サイトから入手可能な該当するソフトウェアパッチが含まれています。

有効にすることができるのは、ライセンスを購入した製品だけです。HPE Matrix OE と Virtual Connect Enterprise Manager (VCEM) は、HPE CloudSystem Enterprise でのみ使用できません。

**注記:** 仮想化ソフトウェアのオプション (「仮想化ソフトウェア」(11 ページ) を参照)

**表 6 サポートされるソフトウェア**

ソフトウェア製品	2016.09.0
HPE OneView	2.0 (2.00.07)
HP Insight Control サーバードプロビジョニング	7.5.1
HPE CloudSystem ソフトウェア <sup>1</sup>	10.0
HPE Matrix OE <sup>2</sup>	7.5.1
VCEM <sup>2</sup>	7.5.1

<sup>1</sup> 他のアプライアンス、SDN コントローラー、ネットワークノード、vCenter 用のプロキシアプライアンス、および Enterprise アプライアンス (CloudSystem Enterprise のみ) を作成する基本のアプライアンスが含まれます。

<sup>2</sup> HPE Matrix OE および VCEM は、Microsoft Windows ソフトウェアです。Enterprise ライセンスを選択している場合、HPE BladeSystem c-Class サーバードプロ、c7000 エンクロージャー、および VC モジュールを管理するために、HPE OneView または VCEM ライセンスを選択できます。VCEM を選択した場合は、HPE Matrix OE と VCEM が、管理アプライアンスサーバーホストから Windows サーバーと一緒にインストールされます。

### Web ブラウザー

HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x は、Microsoft Internet Explorer 10 をサポートしています。Microsoft Internet Explorer、Google Chrome、または Mozilla Firefox を使用して、HPE CloudSystem Enterprise のインストールを実行できます。

### 仮想化ソフトウェア

HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x は、表 7 (11 ページ) および表 8 (12 ページ) に記載されたハイパーバイザーへの仮想マシンの配備をサポートしています。

**表 7 MASH 用仮想化ソフトウェア**

仮想化ソフトウェア	2016.09.0
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 3	√ <sup>1</sup>
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 2	√
VMware vSphere (ESXi) 6.0	√
VMware vSphere (ESXi) 6.0 Update 1	√
VMware vSphere (ESXi) 6.0 Update 2	√ <sup>1</sup>

<sup>1</sup> このハイパーバイザーの HPE カスタムイメージ（2016 年 4 月）には、必要なすべてのドライバーとソフトウェアが含まれています。このイメージ、およびドライバーとソフトウェアのリストは、<http://vibsdepot.hpe.com>（英語）から入手できます。

**表 8 コンピュートノードの仮想化ソフトウェア**

仮想化ソフトウェア	2016.09.0
Red Hat KVM 7.2	√
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 3	√ <sup>1</sup>
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 2	√
VMware vSphere (ESXi) 6.0	√
VMware vSphere (ESXi) 6.0 Update 1	√
VMware vSphere (ESXi) 6.0 Update 2	√ <sup>1</sup>
Microsoft Windows Server 2012 R2 Hyper-V (Datacenter Edition) <sup>2</sup>	√
Microsoft Hyper-V Server 2012 R2 <sup>2</sup>	√

<sup>1</sup> このハイパーバイザーの HPE カスタムイメージ（2016 年 4 月）には、必要なすべてのドライバーとソフトウェアが含まれています。このイメージ、およびドライバーとソフトウェアのリストは、<http://vibsdepot.hpe.com>（英語）から入手できます。

<sup>2</sup> Hyper-V コンピュートノードは、プラットフォームサービス（Helion 開発プラットフォームおよび DNSaaS）をインストールするときに CloudSystem クラウドに含めることはできません。

## オペレーティングシステム

HPE CloudSystem Enterprise は、HPE CloudSystem Foundation、HPE Matrix OE、および VMware vCenter を含む多くのプロバイダーをサポートしています。表 8 (12 ページ) に示すように、HPE CloudSystem Foundation は ESX および KVM をサポートしています。HPE Matrix OE は、<http://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs> にある『HP Insight Management サポートマトリックス』に記載されたサポートを提供します。ご使用の環境にある他のプロバイダーについては、サポートマトリックスを参照して、ハイパーバイザーおよびオペレーティングシステムのサポートを確認してください。

## 5 サポート済みのファームウェアとドライバー

この章では、エンクロージャーおよびサーバーブレードのファームウェアとドライバーの情報について記述します。特に指示しない限り、すべてのファームウェアとドライバーのバージョンは、指定された HPE Service Pack for ProLiant (SPP) に付属しています。

SPP の内容の一覧については、以下の手順に従ってください。

1. <http://www.hpe.com/info/spp/documentation> にアクセスします。
2. スクロールダウンして、ご使用の HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x 環境に対応する SPP の内容レポートを選択します。

ファームウェア、ドライバーを個々に更新するのはお勧めしません。

HPE Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x は、ホットフィックスおよび Maintenance Supplement Bundle (MSB)、表 9 (13 ページ) および HPE Service Pack for ProLiant Web サイト ([http://www.hpe.com/jp/servers/spp\\_dl](http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl)) に記載された SPP バージョンに対する HPE のソフトウェアセキュリティ対策チーム (SSRT) 通知に含まれるパッチもサポートします。

表 9 ファームウェアおよびドライバー

コンポーネント	2016.09.0
SPP	2016.04.0 HPE ProLiant BL460c Gen9 および BL660c Gen9 システム ROM バージョン 2.20
OA	4.50
iLO 4	2.40
VC <sup>1</sup>	4.45
HPE OneView	2.0 (2.00.07)

<sup>1</sup> VC ファームウェアパッケージは、インターコネクトモジュール用のファームウェアイメージを含み、これらのモジュールのファームウェアをファームウェアのフラッシュ時に自動で更新します。インターコネクトモジュール固有のファームウェアバージョン情報については、<http://www.hpe.com/info/vc/manuals> で提供される VC ファームウェアのリリースノートを参照してください。

## 6 サポートと他のリソース

### Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスを受けるには、Web サイト「Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide」に移動します。  
<http://www.hpe.com/assistance>
- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトに移動します。  
<http://www.hpe.com/support/hpesc>

#### ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- 増設した製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

### アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。製品のドキュメントを確認し、推奨されるソフトウェアアップデートの方法を特定します。
  - 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかに移動します。
    - Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[メールニュース配信登録]** ページ：  
<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>
    - Software Depot の Web サイト：  
<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>
  - お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[More Information on Access to Support Materials]** ページに移動します。  
<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>
- 
- ① **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HP パスポートをセットアップしておく必要があります。
-

## Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	<a href="http://www.hpe.com/info/enterprise/docs">http://www.hpe.com/info/enterprise/docs</a>
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	<a href="http://www.hpe.com/support/hpesc">http://www.hpe.com/support/hpesc</a>
Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide	<a href="http://www.hpe.com/assistance">http://www.hpe.com/assistance</a>
サブスクリプションサービス/サポートのアラート	<a href="http://www.hpe.com/support/e-updates-ja">http://www.hpe.com/support/e-updates-ja</a>

## 関連ドキュメント

Helion CloudSystem built on ConvergedSystem 700x のドキュメントは <http://www.hpe.com/info/CloudSystem/solution/docs> から入手できます。管理ソフトウェアの関連資料は、次の表に示すサイトで入手できます。

製品	Web サイト
HPE CloudSystem ソフトウェア	<a href="http://www.hpe.com/info/cloudsystem/docs">http://www.hpe.com/info/cloudsystem/docs</a>
HPE OneView	<a href="http://www.hpe.com/info/oneview/docs">http://www.hpe.com/info/oneview/docs</a>
HP Insight Control サーバードビジョニング	<a href="http://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs">http://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs</a>
HPE Matrix Operating Environment	<a href="http://www.hpe.com/info/matrixoe/docs">http://www.hpe.com/info/matrixoe/docs</a>

HPE Server Automation (SA)、および HPE Cloud Service Automation (CSA) については、SSO ポータルを検索して関連ドキュメントを入手してください。

1. SSO ポータル <http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals> に移動します。
2. 必要な場合は、HP パスポートにログインします。HP パスポートのアカウントを持っていない場合は、作成する必要があります。
3. [製品] メニューで、[Server Automation] または [Cloud Service Automation] を選択します。
4. [バージョン] メニューで、最新バージョンを選択します。
5. [オペレーティングシステム] メニューで、関連するオペレーティングシステムを選択します。
6. [Search] をクリックします。

## カスタマーセルフリペア

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

<http://www.hpe.com/support/selfrepair>

## リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

デバイスサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>